

口腔病理学講座  
(Department of Oral Pathology)

## 教育研究原著論文

## 1) 印刷公表

1. Nishikawa T, Nakamura S\*, Masuno K, Okamura T, Tominaga K, Wato M, Kokubu M, Tanaka A. Biocompatibility and bioabsorption of novel porous calcium microparticles. *Nano Biomedicine* 2009 ; 1 (1) : 75–82. (平成 19~22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19592273, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
2. Bamba Y, Nishikawa T, Tanaka A. Expression of histone H3, p53, cyclin D1, and cyclin B1 in oral mucosal lesions. *Oral Med Pathol* 2009 ; 13(4) : 119–126.
3. 田幡 元, 富永和也, 上田雅俊. 歯周組織欠損を施したⅡ型糖尿病モデルラットの早期創傷治癒過程におけるⅢ型コラーゲン形成. *日本歯科保存学雑誌* 2009 ; 52(1) : 58–67.
4. Ueda M, Tanaka A, Ueda M. Immunohistochemical study of the periodontal tissues of model rats with type 2 diabetes mellitus. *J Osaka Dent Univ* 2009 ; 43(1) : 93–102.
5. Masuno K, Nishikawa T, Tanaka A. Expression of p21, p27, p53, cyclin D 1 and thymidylate synthase in squamous cell and mucoepidermoid carcinomas. *J Osaka Dent Univ* 2009 ; 43(1) : 103–109.
6. Kawanaka A, Tominaga K, Tanaka A. Effect of peptide derived from Emdogain® on human periodontal ligament fibroblasts. *J Osaka Dent Univ* 2009 ; 43(1) : 111–117. (平成 18・19 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 18592273, 大阪歯科大学学術研究奨励助成金 07–04)
7. Okamura T, Nishikawa T, Tanaka A. Calcification on cultured human dental pulp cells exposed to high glucose level. *Oral Med Pathol* 2009 ; 13(3) : 47–53. (大阪歯科大学学術研究奨励助成金 A 06–01)
8. Nishikawa T, Okamura T, Masuno K, Tominaga K, Wato M, Kokubu M, Imai K, Takeda S, Hidaka M\*, Tanaka A. Physical characteristics and interior structure of coral skeleton as a bone scaffold material. *J Oral Tissue Engin* 2009 ; 7(2) : 121–127. (平成 19~22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19592273, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
9. Wato M, Taguchi Y, Ueda M, Uobe K, Masuno K, Tominaga K, Nishikawa T, Tanaka A. Double-immunostaining of p63 protein and cytokeratin 8 in pleomorphic adenoma. *Oral Med Pathol* 2009 ; 14(2) : 49–54.

2) 学会発表

1. 辻 要, 井関富雄, 和唐雅博, 伊藤公美子, 林 輝嘉, 松島由紀, 田中昭男, 森田章介. サイトケラチンの発現における正角化上皮性歯原性嚢胞の位置付けの検討 (類皮嚢胞との比較). 日本口腔科学会雑誌 2009; **58(4)**: 255.
2. 松田彩起子, 和唐雅博, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 口腔扁平上皮癌における c-MET の発現と腫瘍の大きさとの関係. 日本口腔科学会雑誌 2009; **58(4)**: 268.
3. 富永和也, 川中彩子, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 国分麻佑, 田中昭男. 新規合成ペプチドによる硬組織形成. 大阪歯科大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業「歯周病に対する戦略的研究」第1回研究成果報告会抄録集 2009: 27. (平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
4. 西川哲成, 益野一哉, 岡村玄友, 富永和也, 和唐雅博, 田中昭男. 新規開発の多孔性カルシウム粒子に対する生体反応. 大阪歯科大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業「歯周病に対する戦略的研究」第1回研究成果報告会抄録集 2009: 28. (平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
5. 和唐雅博, 国分麻佑, 益野一哉, 富永和也, 西川哲成, 田中昭男. Immunohistochemical study of keratocystic odontogenic tumor and orthokeratinized odontogenic cyst. *Oral Med Pathol* 2009; **14(2)**: 74.
6. 川中彩子, 富永和也, 和唐雅博, 益野一哉, 西川哲成, 螺良愛郎\*<sup>3</sup>, 田中昭男. ヒト歯根膜線維芽細胞に対するエムドゲイン由来ペプチドの作用機序. 第41回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 講演プログラム・要旨集 2009: 143. (平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業, 大阪歯科大学学術研究奨励助成金 07-04)
7. 岡村玄友, 国分麻佑, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. ヒト歯髓由来培養細胞における高濃度グルコースの影響. 第41回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 講演プログラム・要旨集 2009: 144. (大阪歯科大学学術研究奨励助成金 07-04)
8. 益野一哉, 国分麻佑, 富永和也, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. 扁平上皮癌と腺様嚢胞癌における p53 経路および Rb 経路の関連. 第41回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 講演プログラム・要旨集 2009: 145.
9. 富永和也, 国分麻佑, 益野一哉, 和唐雅博, 西川哲成, 田中昭男. 骨形成を誘導する新規合成ペプチドに対するモノクローナル抗体作製. *J Oral Biosci* 2009; **51(Suppl)**: 145. (平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
10. 西川哲成, 益野一哉, 富永和也, 和唐雅博, 国分麻佑, 今井弘一, 武田昭二, 日高道雄\*<sup>2</sup>, 田中昭男. サングの骨再生足場材料としての物理的特性および内部構造. 日本再生歯科医学会誌 2009; **7(1)**: 93. (平成 19~22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19592273, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)

11. Taguchi Y, Yasui N, Terada S, Hata S, Tominaga K, Tanaka A, Ueda M. Effect of oligopeptide derived from enamel matrix derivative on rat bone marrow stromal cells. *AAP 2009 Annual Meeting* (平成 21・22 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 21792137, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
12. 辻 要, 和唐雅博, 松田彩起子, 伊藤公美子, 福田あおい, 吉田博昭, 井関富雄, 田中昭男, 森田章介. 口腔粘膜の上皮性異形成症および扁平上皮癌における HPV の感染と関連遺伝子の研究. *日本口腔外科学会雑誌* 2009; **55**: 202.
13. 肥田智明, 富永和也, 田中昭男. エナメル基質蛋白誘導体由来の合成ペプチドに対するラット皮下組織の反応. *日本歯周病学会会誌* 2009; **51**(Suppl): 94. (平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
14. 西川哲成, 益野一哉, 富永和也, 岡村友玄, 国分麻佑, 和唐雅博, 田中昭男. ラット背部皮下に埋入した足場材料の生体吸収性. *日本歯周病学会会誌* 2009; **51**(Suppl): 95. (平成 19~22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19592273, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)
15. 安井菜津希, 田口洋一郎, 富永和也, 寺田昌一郎, 畑 慎太郎, 重松伸寛, 野口三智子, 田中昭男, 上田雅俊. ラット骨髄細胞に対する EMD 由来合成ペプチドの影響. *日本歯周病学会会誌* 2009; **51**(Suppl): 131. (平成 21・22 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 21792137, 平成 19~23 年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業)

## 臨床症例報告

### 1) 印刷公表

1. 門野昌平, 吉田博昭, 坂田 一, 渡邊 岳, 福地和秀, 福田あおい, 森田章介, 富永和也, 田中昭男. 下顎に生じた歯原性粘液線維腫の 1 例. *日本口腔診断学会雑誌* 2009; **22**(2): 299-302.

### 2) 学会発表

1. 林 輝嘉, 山田耕治, 井関富雄, 辻 要, 酒匂 潤, 富永和也, 田中昭男, 森田章介. 17 年間経過し巨大化した疣贅型黄色腫の 1 例. *日本口腔粘膜学会誌* 2009; **15**(2): 100.

## 総説

1. 田口洋一郎, 上田雅俊, 田中昭男, 畑 慎太郎, 寺田昌一郎, 安井菜津希. マルチマイクロプレートリーダーを用いた抗菌ペプチドの検出. *大阪歯科大学中央歯学研究所報* 2009; **1**(1): 29-30. (平成 21・22 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 21792137)

## 著書

1. 田中昭男. 感染症. スタンダード病理学. 東京：学建書院 2009：142-159.
2. 田中昭男, 富永和也. II. 歯周治療と糖尿病 1. 歯周治療と糖尿病の状態 CQ1：歯周病の治療をすると糖尿病は改善するか？糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン. 東京：精文堂 2009：30-36.
3. 田中昭男. 2. 歯周組織の構造・組織学. ザ・ペリオドントロジー. 東京：永末書店 2009：24-29.

---

\* 中村歯科医院

\*2 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

\*3 関西医科大学病理学第二講座